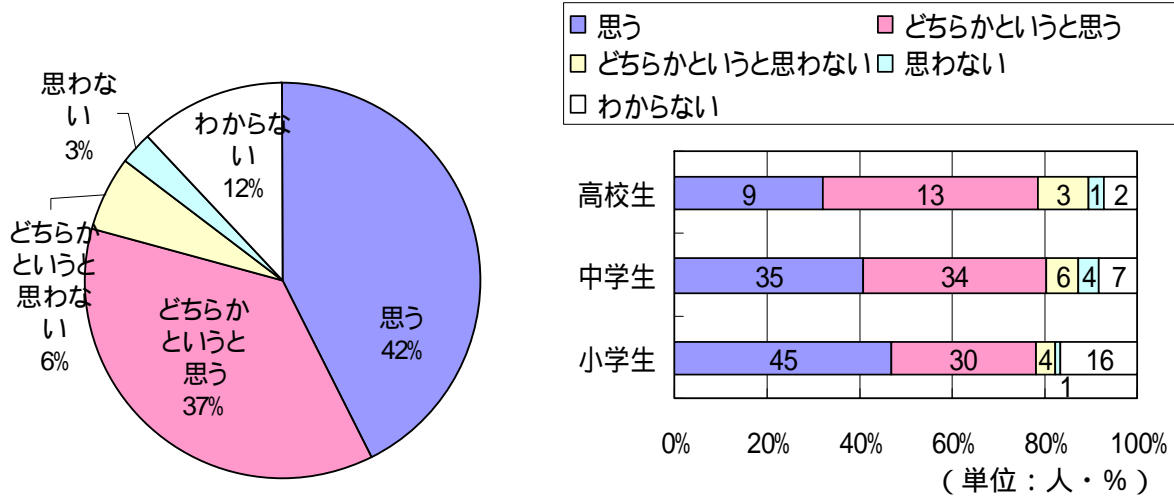


Q3 暮らしに必要な工事(2) 将来も役立つ施設

今行っている、ダムや道路をつくる工事は、自分たちが大人になったときの暮らしに役立つものだと思いますか。

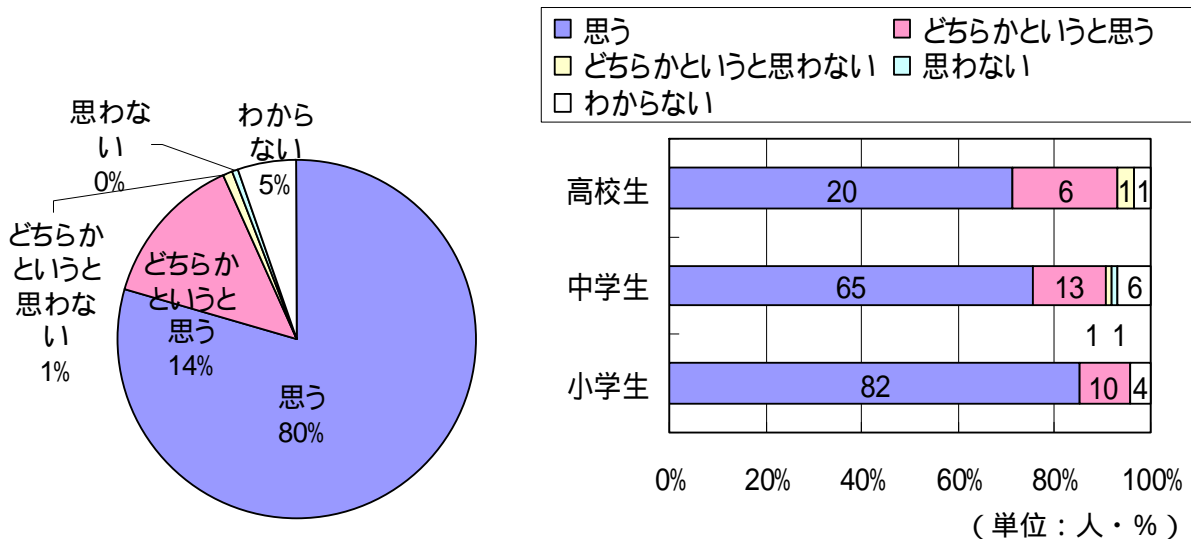


全体としては、「どちらかというと思う」を含め、79.0%の方が、自分たちが大人になったときの暮らしに役立っていると回答しています。どの年代とも同じような割合です。

なお、小学生の16.7%の方が「わからない」と回答しており、他の年代に比べて高い割合となっています。

Q4 暮らしに必要な工事(3) いざというとき役立つ施設

地震でもこわれな橋や堤防をつくる工事は、人のいのち、家や田畑などの財産を守ることに役立っていると思いますか。

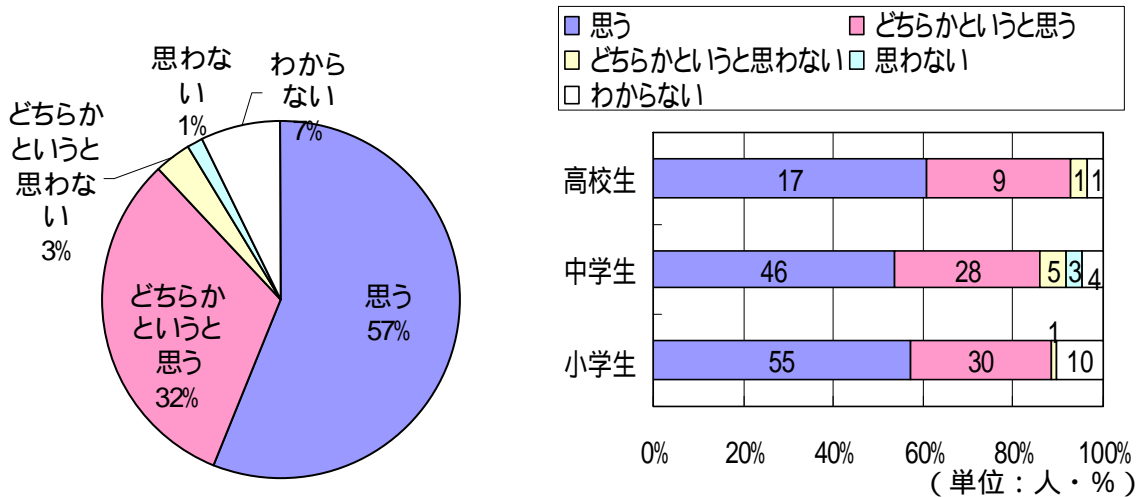


「どちらかというと思う」を含め、全体の93.3%の方が、人のいのち、財産を守ることに役立っていると回答しています。

全体の79.5%の方が、最も肯定的な選択肢である「思う」に回答していますが、年代が上がるにつれて、その割合は低くなる傾向があります。

Q5 暮らしに必要な工事(4)いつも役立つ施設

港や道路などをつくる工事は、商品や人などの輸送をささえることに役立っていると思いますか。

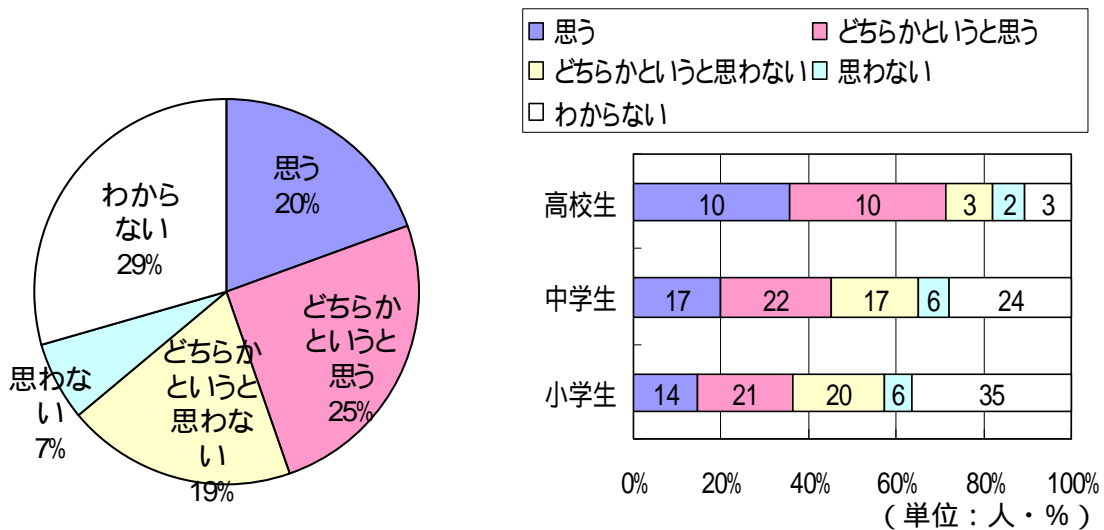


「どちらかというと思う」を含め、年代の別を問わず、88.1%の方が輸送をささえることに役立っていると回答しています。

一方、小学生の10.4%の方が「わからない」と回答しており、他の年代に比べて高い割合となっています。

Q6 みんなの意見と工事

あなたの身近で行われているさまざまな「公共土木施設工事」は、実際に施設を使うことになる人たちの意見を聞かずにつくっていると思いますか。

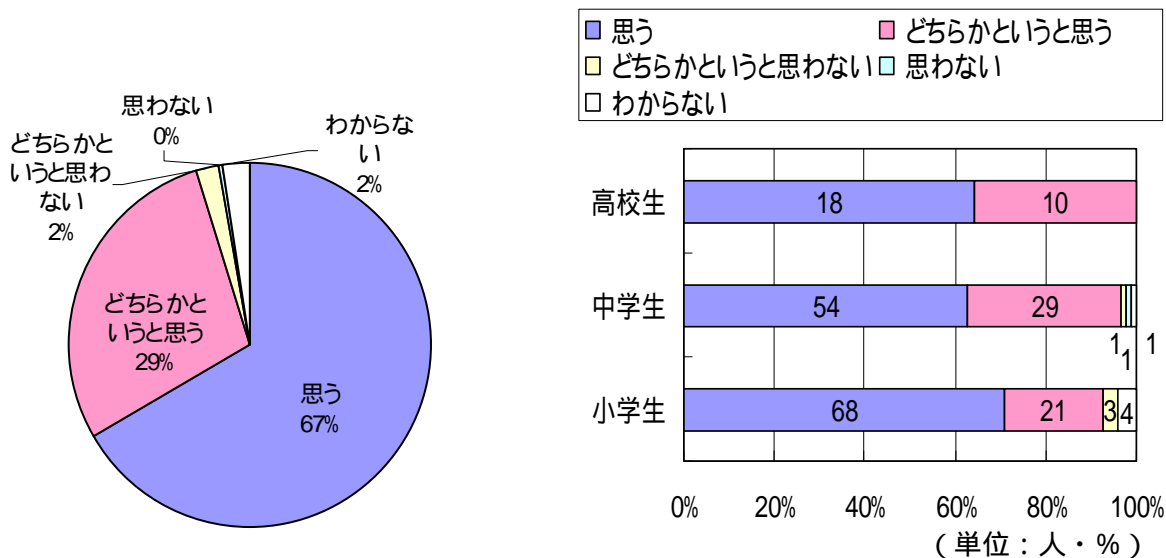


全体としては、「どちらかというと思う」と含め、44.8%の方が意見を聞かずに作っていると回答しています。

一方、全体の29.5%の方が「わからない」と回答しています。特に、小学生の36.5%の方が「わからない」と回答しています。また、年代が下がるにつれて、その割合が高くなる傾向があります。(この設問は、他の設問と比較して、「わからない」と回答のあった割合は最も高くなりました。)

Q7 環境と工事

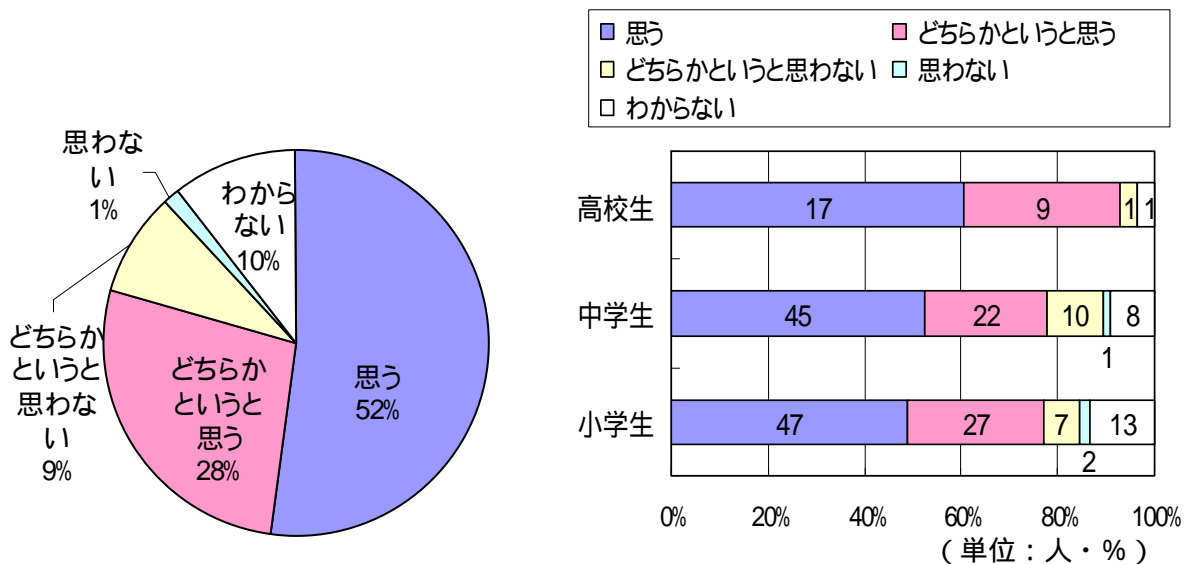
山をくずしたり、海をうめたてる工事は環境をこわしていると思いますか。



全体としては、「どちらかというと思う」と含め、95.2%の方が環境をこわしていると回答しています。特に、高校生の方全てがそのように答えています。

Q8 ムダ使いと工事

たくさんのお金を必要とする工事には、税金のムダ使いがあると思いますか。

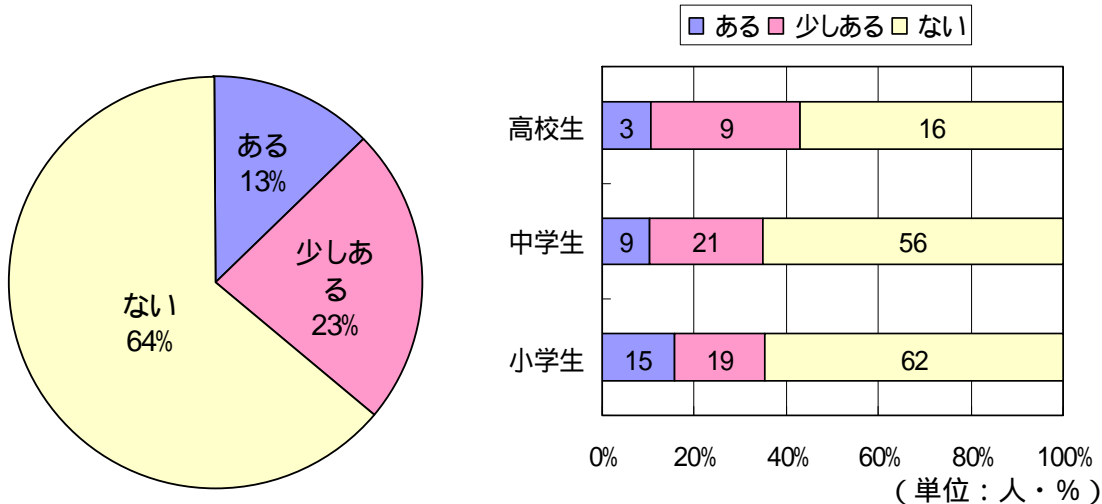


全体としては、「どちらかというと思う」と含め、79.5%の方が税金をムダ使いしていると回答しています。特に、92.9%の高校生の方がそのように回答しています。

また、設問に対して最も肯定的である選択肢である「思う」と回答した方の割合は小学生が49.0%、中学生が52.3%、高校生が60.7%と、年代が上がるにつれて高くなる傾向となっています。

Q9 工事への関心(1)

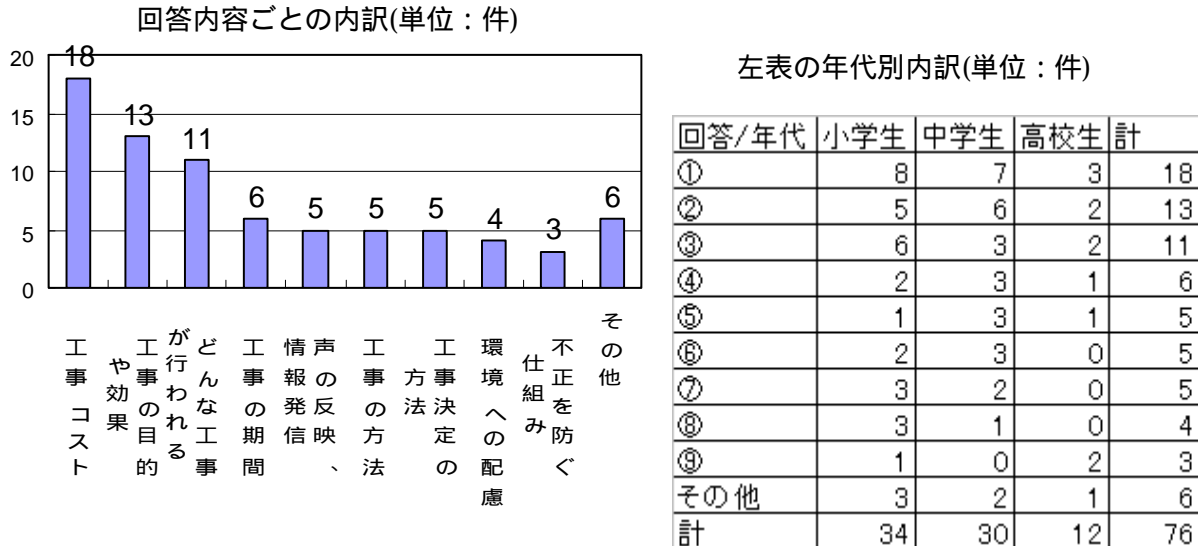
あなたの身近で行われている工事や、さまざまな「公共土木施設工事」についてもっとくわしく知りたいなど、関心はありますか。



全体としては、「少しある」を含め、36.2%の方が関心はあると回答しています。特に高校生の方は42.9%と、他の年代と比較して高い割合です。

Q10 工事への関心(2)

Q9で「ある」「少しある」と答えた人に聞きます。どんなことを知りたいですか。

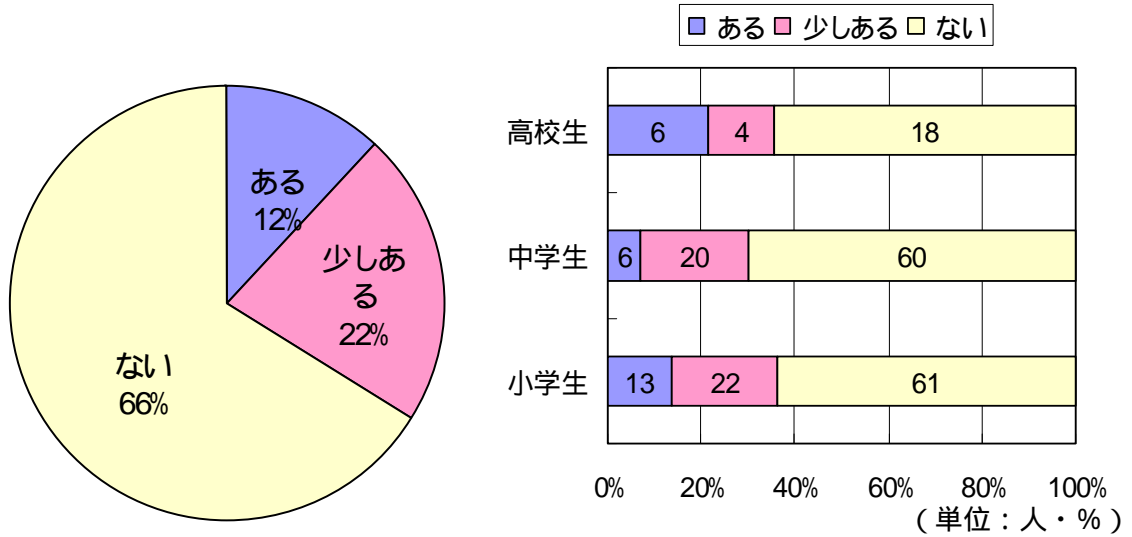


Q9で「ある」「少しある」とお答えいただいた方に記入いただいた76件のご回答について、左の棒グラフのとおり9つに分類したところ、「工事にかかるコストについて知りたい」「ムダはないのか知りたい」「工事にかかるお金の流れを知りたい」などといったご意見が全体の23.7%を占め、どの年代も最も多い結果となりました。

以下、「工事の目的や効果について知りたい」が17.1%、「どのような工事が行われるのか知りたい」が14.5%となりました。

Q11 工事で困っていること(1)

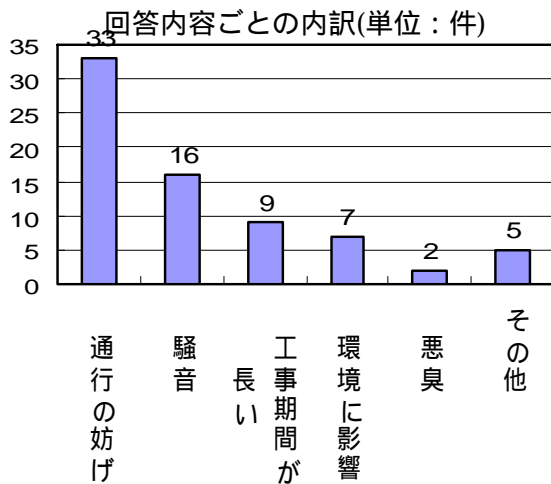
あなたの身近で行われている工事や、さまざまな「公共土木施設工事」のせいで困っていることがありますか。



全体としては、「少しある」を含め、33.8%の方が困っていることがあると回答しています。年代ごとの顕著な傾向差はありません。

Q12 工事で困っていること(2)

Q11で「ある」「少しある」と答えた人に聞きます。どんなことに困っていますか。(自由回答)



左表の年代別内訳(単位:件)

回答/年代	小学生	中学生	高校生	計
①通行の妨げ	19	11	3	33
②騒音	8	5	3	16
③工事期間が長い	4	4	1	9
④環境に影響	2	5	0	7
⑤悪臭	1	1	0	2
その他	3	1	1	5
計	37	27	8	72

Q11で「ある」「少しある」とお答えいただいた方に記入いただいた72件のご回答について、左の棒グラフのとおり内容を5つに分類したところ、「通行の妨げについて(交通渋滞や歩きづらさなど)のご意見が全体の45.8%を占め、どの年代も最も多い結果となりました。

以下、「工事にかかる騒音」(22.2%)、「工事期間の長さ」(12.5%)、「環境への影響」(9.7%)の順となりました。

3 まとめ

公共土木施設の工事について、「私たちの暮らしに役立つと思いますか(Q2)」や「人のいのち、家や田畑などの財産を守ることに役立つと思いますか(Q4)」など、役立つものかと聞いたところ、88.1%の方が暮らしに役立つと回答し、93.3%の方がいのちや財産を守ることに役立つと回答するなど、いずれの質問にも多数の方が役立つものと回答しています。

このことから、公共土木施設をつくる工事は私たちにとって役立つと理解され、事業がもたらす効果についても期待されているものと考えられます。

一方で、公共土木施設の工事について、「環境をこわしていると思いますか(Q7)」や「税金をムダ使いしていると思いますか(Q8)」など否定的な視点からも聞いたところ、95.2%の方が環境をこわしていると回答し、79.5%の方が税金をムダ使いしていると思うと回答しています。

また、自由意見でも、工事の期間や、工事にかかる費用に対する意見や、工事を行うことでの効果について関心があるなど、多くの声が寄せられました。

これらのことから、公共土木施設の工事を進めるにあたっては、環境への配慮や、効果的、効率的な整備を期待されているものと考えられます。

そこで、環境に配慮した工法の採用やコスト縮減への取組、社会情勢の変化を踏まえた公共土木施設の整備など県の取組について、大人だけでなく、キッズ・モニターの方々の世代も含めたあらゆる年代の方に知っていただくための広報活動に取り組みたいと思います。

具体的には、今後「県土整備部キッズ・ホームページ」を立ち上げたいと考えています。ホームページに掲載する内容を考える際などに、今回のアンケートでいただいた設問ごとの集計結果や、「ここが知りたい」「ここが分かりにくい」といったご意見を活用していきたいと考えています。

キッズ・モニターの皆さん、アンケートに回答いただき、ありがとうございました。